

みんなが生きやすい環境

中学一年 橋本 美海

私は、宗教の授業やインターネットで調べて、浄土真宗は出会いを大切にする仏教と知りました。毎日、何かや誰かなど、いろんな出会いによって、新しい発見や喜び、悲しみをくり返して生きています。

私は、趣味との出会いで、楽しみや喜びを感じました。浄土真宗が、いろんな出会いの中で、特に大切にしているのは、阿弥陀さまとの出会いです。阿弥陀さまは、私達一人ひとりを、かけがえのない尊いのち、とみてくださり、どんなことがあっても寄りそってくれる仏さまです。私は普段、その仏さまのことを考えたり、意識したりはしなけれど、阿弥陀さまは、私達が何かあったときに寄りそってくれる、と思うと、感謝したい、と思いました。

そこで私は、なぜ浄土真宗は阿弥陀さまとの出会いを大切にすのか、と思いました。それは、阿弥陀さまに見まもられている尊い自分自身に出会うことでもある、ということを知って、なるほど、と思いました。確かに自分のことを、尊いのち、としてみてくださっている阿弥陀さまと出会うというのは、間接的に、尊い自分自身に出会うということにつながる、と考えました。そのことから私は、阿弥陀

さまと出会うことによって、尊い自分自身に出会い、自分のいのちを大切にすることができると考えます。自分のいのちというのは、必ず一つで、代わりのない、尊いもので、大切にしなければなりません。それは、自分以外の人も一緒に、みんなのいのちは一つで、代わりのない、尊いもので、大切にしなければなりません。しかし、実際に、そんな尊いのが、災害とかではなく、人の行動によって、簡単になくなってしまふことがあります。それは、減らす、なくすことができる、と思います。

そのことから私は、まずは身近なことから行動や言動に移す必要がある、と考えます。日常で、誰かが困ったときには助け合ったり、相手の気持ちやしたいことを考えて行動や言動したり、みんなが生きやすい環境を作ることが大切だと思います。私も、物をなくしたときに、友達が一緒に探してくれたり、友達の荷物が多くて大変そうなときに、持ってあげたり、お互い助け合うことがありました。それは、お互い気分がよく、一人がすれば、してもらった相手は、誰かにしてあげたい、と思うかもしれません。そして、いつかは自分に返ってくるような連鎖になれば、みんなが生きやすい環境ができる、と考えます。

人は、必ず誰かと関わって生きています。人との出会いから、自分と自分以外の人達のいのちを大切にしていって、みんなが生きやすい環境をつくっていききたいな、と思います。